

決算・業績予想ダイジェスト

2025年度中間決算

減収・減益（2024年度に続き2年連続）

- 売上高は、販売電力量（小売）が減少したことなどから減収
- 経常利益は、女川原子力発電所2号機の再稼働や、燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の増加などの収支改善があったものの、市場や販売環境の変化に伴う収支悪化や、送配電事業における需給調整費用の増加などから減益

2025年度業績予想および配当予想

2025年4月公表時から

変更なし

業績概要

2

➤ **売上高 1兆1,689億円（前年同期に比べ1,426億円の減）**

… 販売電力量（小売）が減少したことなどから減収。

➤ **経常利益 1,256億円（前年同期に比べ276億円の減）**

… 女川原子力発電所2号機の再稼働や、燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の増加などの収支改善があったものの、市場や販売環境の変化に伴う収支悪化や、送配電事業における需給調整費用の増加などから減益。

➤ **親会社株主に帰属する中間純利益
876億円（前年同期に比べ183億円の減）**

【連結決算の概要】

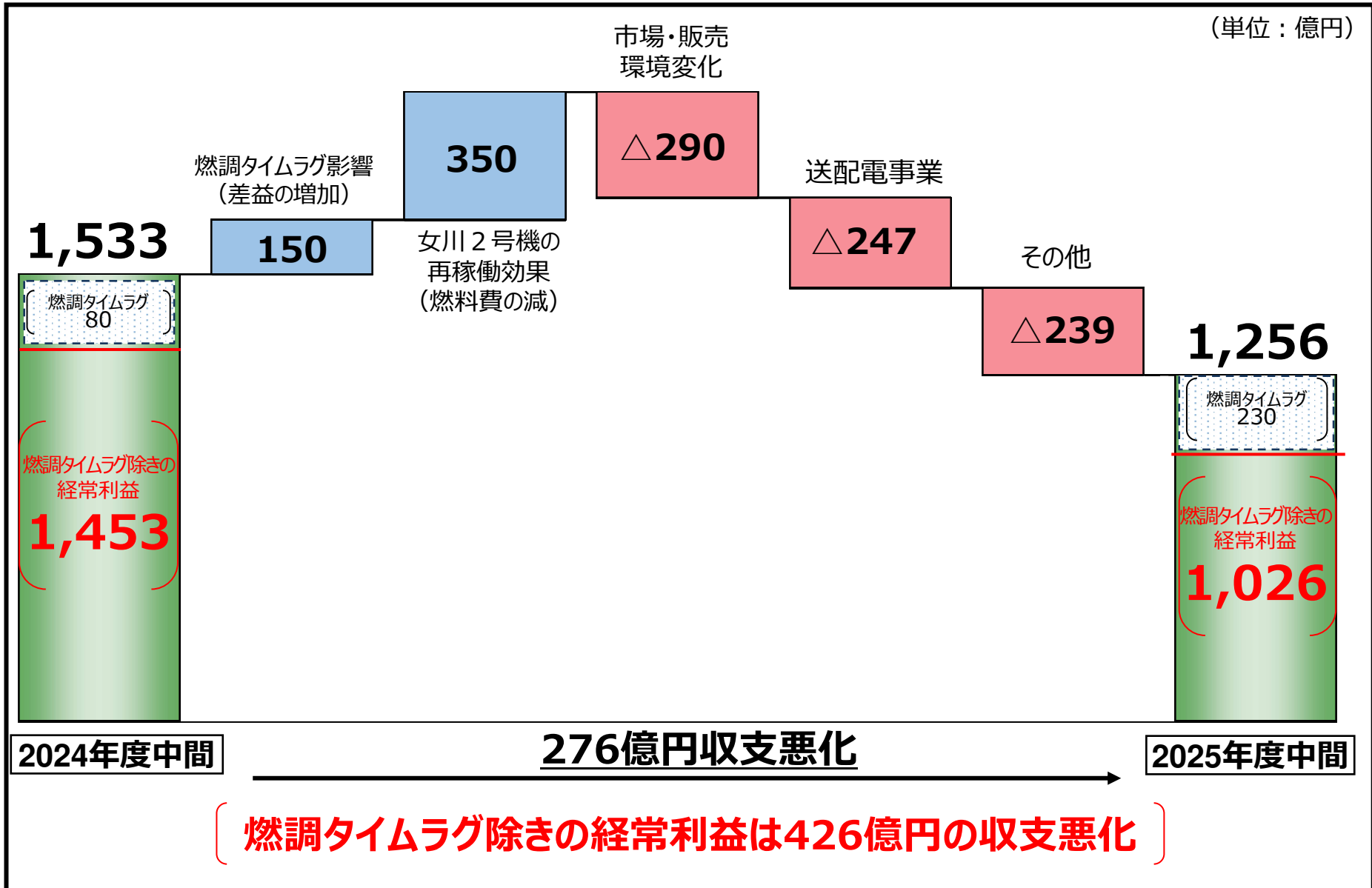
（単位：億円）

	2024年度中間 (A)	2025年度中間 (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高	13,115	11,689	△1,426	89.1 %
経常利益※	1,533 [1,453]	1,256 [1,026]	△276 [△426]	82.0 % [70.6 %]
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,060	876	△183	82.7 %

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

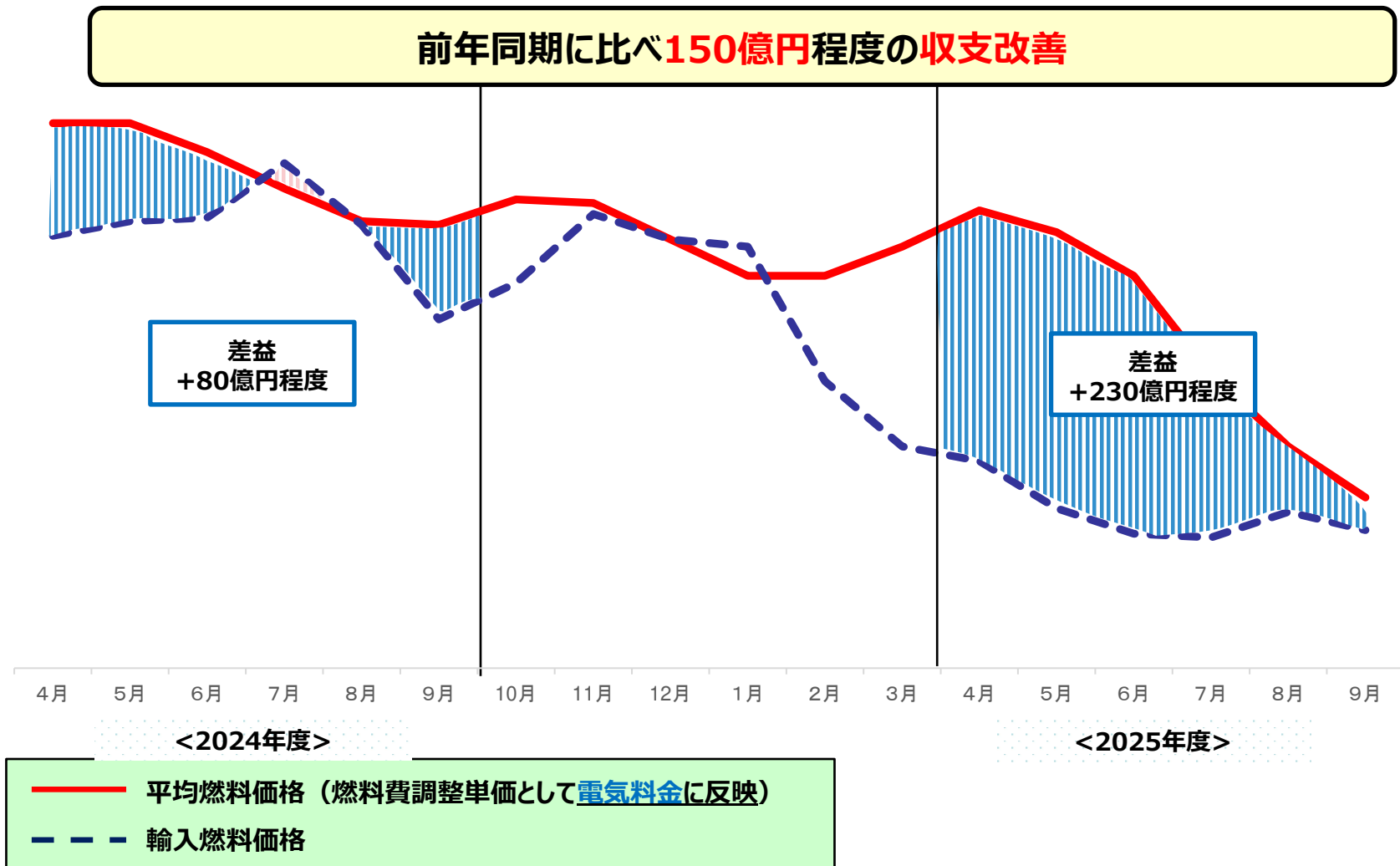
連結経常利益の前年同期からの変動要因

変動額 Δ 276億円 (1,533億円 \rightarrow 1,256億円)



(参考) 燃料費調整制度のタイムラグ影響

▶ 前年同期の燃料費調整額のタイムラグ影響はプラス80億円（差益）だったのに対し、当期はプラス230億円（差益）となり、**差引でプラス150億円の収支改善**となった。



電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **279億kWh (前年同期に比べ12億kWhの減)**

…競争進展に伴う契約切替や産業用における稼動減など。

➤ **卸売** **111億kWh (前年同期に比べ21億kWhの増)**

…相対卸売の増など。

【電力販売実績】

(単位：百万kWh)

【販売実績】※1	2024年度中間 (A)	2025年度中間 (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電 灯	8,373	8,570	197	102.4 %
電 力	20,790	19,352	△ 1,438	93.1 %
小 売 ※2 計	29,163	27,922	△ 1,241	95.7 %
卸 売 ※3	9,020	11,073	2,053	122.8 %
販 売 計	38,184	38,995	811	102.1 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2024年度中間 (A)	2025年度中間 (B)	増減 (B) - (A)
原油C I F価格 (\$ / b b l)	86.7	73.7	△ 13.0
為 替 レ ー ト (円 / \$)	153	146	△ 7
出 水 率 (%)	82.5	96.9	14.4
原子力設備利用率 (%)	0.0	28.3	28.3

セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2024年度中間（A）		2025年度中間（B）		増減（B）－（A）		主な増減要因
	売上高*	経常利益	売上高*	経常利益	売上高*	経常利益	
発電・販売	10,611	1,505	9,822	1,370	△ 788	△ 134	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量（小売）の減少などにより減収 ・女川原子力発電所2号機の再稼働による収支改善効果があったものの、市場・販売環境変化などにより減益
	10,108		9,153		△ 955		
送配電	4,334	188	4,335	△ 59	1	△ 247	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の高気温による基準託送料金の増加などにより増収 ・需給調整費用の増加などにより減益
	2,177		2,279		102		
その他	1,761	76	741	61	△ 1,020	△ 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ユアテックが連結子会社から持分法適用会社に変更となったことなどにより減収 ・総合設備エンジニアリング事業において、外注費や固定経費の増加などにより減益
	829		256		△ 572		
小計	16,707	1,769	14,900	1,372	△ 1,807	△ 397	
調整額	△ 3,591	△ 235	△ 3,210	△ 115	381	120	
連結値	13,115	1,533	11,689	1,256	△ 1,426	△ 276	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

財政状態（連結）

7

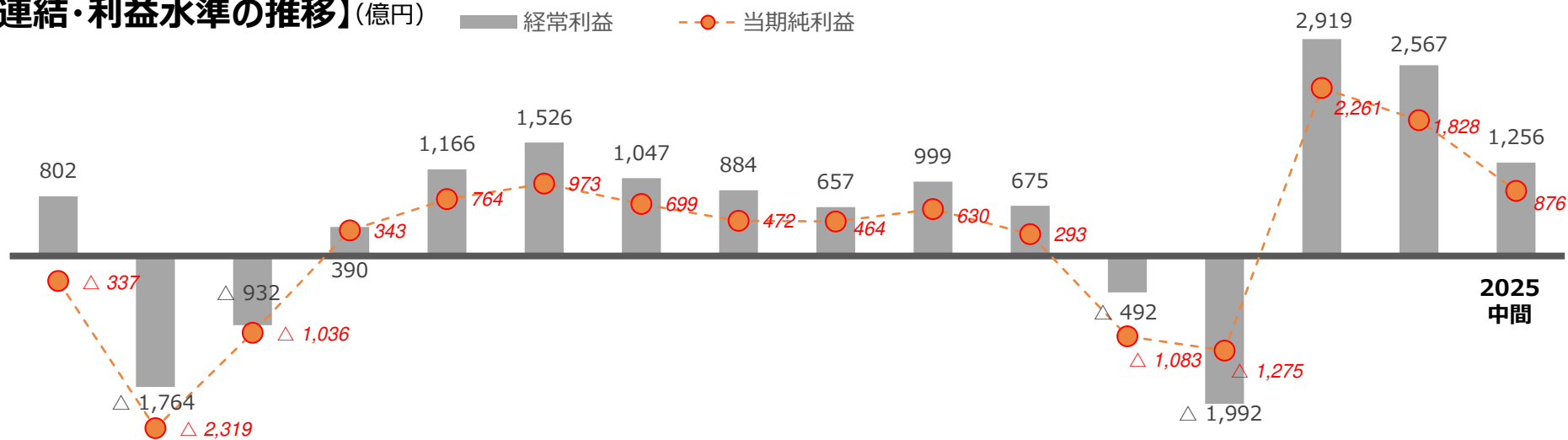
(単位：億円)

	2024年度末 (A)	2025年度中間期末 (B)	増減 (B) - (A)	主な増減内容
総資産	53,982	54,413	431	
固定資産	42,562	43,236	673	固定資産仮勘定 844 外
流動資産	11,419	11,177	△ 242	現金及び預金 △192 外
負債	43,894	43,484	△ 409	
固定負債	32,377	32,711	334	
流動負債	11,516	10,772	△ 743	支払手形及び買掛金 △579 外
純資産	10,088	10,929	841	親会社株主に帰属する中間純利益 876 外
有利子負債残高	33,369	33,826	457	長期借入金 469 外
自己資本比率	18.3% (20.8%※)	19.6% (22.2%※)	1.3% (1.4%※)	

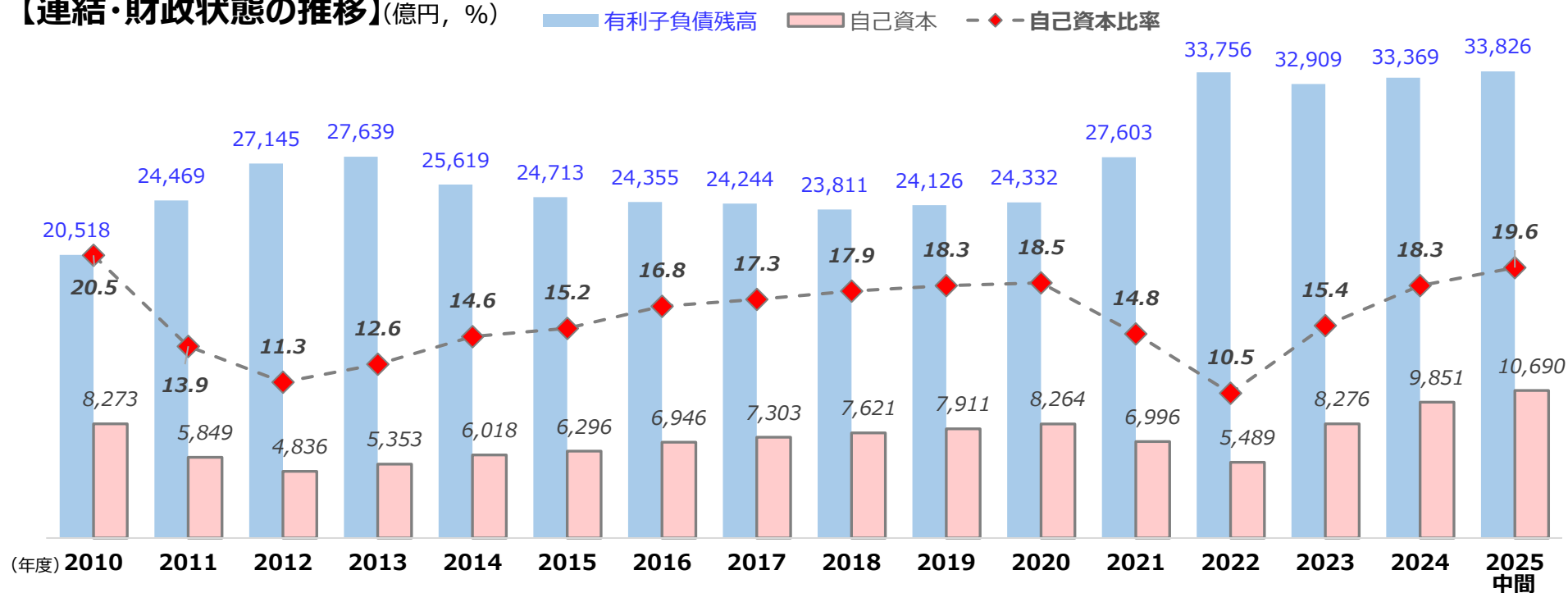
※ 発行済のハイブリッド社債のうち、発行額の50%(1,400億円)を自己資本とした場合の自己資本比率。

利益水準・財政状態の推移 (連結)

【連結・利益水準の推移】(億円)



【連結・財政状態の推移】(億円, %)



2025年度 業績予想および中間配当・期末配当予想

9

■ 連結業績予想（2025年4月公表値から変更なし）

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益※	親会社株主に帰属する当期純利益
通 期	24,500	2,200	1,900 [1,900]	1,350

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

■ 主要諸元

		4/30公表	今回公表
販売電力量※ （億kWh）	小 売	614 程度	592 程度
	卸 売	167 程度	218 程度
	合 計	781 程度	810 程度
原油CIF価格（\$/bbl）		80 程度	72 程度
為替レート（円/\$）		145 程度	148 程度
原子力設備利用率（%）		23.2 程度	22.6 程度

※ 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

■ 収支変動影響額

（単位：億円）

原油CIF価格(1\$/bbl)	21 程度
為替レート(1円/\$)	28 程度
原子力設備利用率(1%)	23 程度

■ 中間配当・期末配当予想（2025年4月公表値から変更なし）

（単位：円）

	中 間	期 末（予想）	年 間（予想）
1株当たりの配当金	20	20	40